

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年10月30日(2008.10.30)

【公表番号】特表2008-528721(P2008-528721A)

【公表日】平成20年7月31日(2008.7.31)

【年通号数】公開・登録公報2008-030

【出願番号】特願2007-551680(P2007-551680)

【国際特許分類】

C 1 1 D	3/14	(2006.01)
C 1 1 D	3/37	(2006.01)
C 1 1 D	3/20	(2006.01)
C 1 1 D	3/18	(2006.01)
C 1 1 D	3/50	(2006.01)
A 6 1 Q	19/10	(2006.01)
A 6 1 K	8/84	(2006.01)
A 6 1 K	8/46	(2006.01)
A 6 1 K	8/92	(2006.01)
A 6 1 K	8/02	(2006.01)

【F I】

C 1 1 D	3/14
C 1 1 D	3/37
C 1 1 D	3/20
C 1 1 D	3/18
C 1 1 D	3/50
A 6 1 Q	19/10
A 6 1 K	8/84
A 6 1 K	8/46
A 6 1 K	8/92
A 6 1 K	8/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月9日(2008.9.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(a) 平均直径50μm～5mm(重量平均)の範囲の開放気泡型アミノプラスチック発泡体片と、

(b) 水と、

(c) 少なくとも1種の界面活性剤と、

(d) 必要に応じて、油または脂肪相と、

を含むことを特徴とする混合物。

【請求項2】

界面活性剤(c)を無毒性の界面活性剤から選択する、請求項1に記載の混合物。

【請求項3】

混合物が23にて100～10000mPa.sの動的粘度を有する、請求項1または請

求項 2 に記載の混合物。

【請求項 4】

開放気泡型アミノプラスチック発泡体片 (a) が  $5 \sim 500 \text{ kg/m}^3$  の範囲の密度及び、 $1 \mu\text{m} \sim 1 \text{ mm}$  の範囲の平均孔径を有するアミノプラスチック発泡体を機械的粉碎することにより作製される、請求項 1～3 のいずれか 1 項に記載の混合物。

【請求項 5】

10 質量 % 以下の少なくとも 1 種の香料または香氣物質 (e) を追加して含む、請求項 1～4 のいずれか 1 項に記載の混合物。

【請求項 6】

請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の少なくとも 1 種の混合物を洗剤として使用する表面を洗浄する方法。

【請求項 7】

表面が光沢のある物質で形成された表面である、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

請求項 1～5 のいずれか 1 項に記載の混合物を洗剤またはシャワー用ジェルとして使用する方法。

【請求項 9】

(a) 平均直径  $50 \mu\text{m} \sim 5 \text{ mm}$  (重量平均) の範囲の開放気泡型アミノプラスチック発泡体片と、

(b) 水と、

(c) 少なくとも 1 種の界面活性剤と、

(d) 必要に応じて、油または脂肪相と、

を一緒に混合することを特徴とする請求項 1～5 項のいずれか 1 項に記載の混合物の製造方法。

【請求項 10】

複数の工程で行われる、請求項 9 に記載の製造方法。